

2008年12月19日

12月も半ばを過ぎました。年の瀬を迎え、お忙しい毎日をお過ごしのことと存じます。前回の速報を今年最後と考えておりましたが、社会保障審議会・障害者部会が12月15日をもって終了し、報告書をまとめました。さらに18日に開催された自民党社会保障制度調査会・障害者福祉委員会（木村義男委員長）では、与党プロジェクトチームからの中間報告がありましたので、今回の速報のなかで、これらのご報告をし、今年を締めくくらせていただきます。実際には、具体的な結論が出ているわけではありませんので、年明けからが本腰を入れた論争再開となりそうです。

一年間、会員の皆様に支えていただきながら当育成会の活動ができましたことを心から感謝申し上げます。来年は、さらに活動の幅を拡げ、夢を描ける未来づくりのために躍進してまいります。今後ともご支援、ご協力をお願い申し上げます。

新年が皆様にとって幸多い年となりますよう、心より祈念しております。

社会福祉法人 全日本手をつなぐ育成会 理事長 副島 宏克

#### [1] 社会保障審議会障害者部会

最終の障害者部会は12月15日に開催され、同部会報告書案の審議となりました。同部会は、障害者自立支援法の見直しを議題として、本年4月から19回にわたり開催されてきました。

同部会報告書を踏まえ、国において、法・制度の改正や来年度の予算編成が行われる予定です。同報告書の概要が示されましたので、取り急ぎ、添付し、お知らせいたします。

なお、今日現在、利用者負担や報酬単価に関する報道がなされていますが、それらに関しては、与党プロジェクトチームや自民党障害者福祉委員会並びに厚生労働省からは、明確に示されてはいません。正確な情報が得られ次第お知らせしたいと思います。

#### [2] 自民党社会保障制度調査会・障害者福祉委員会

12月18日に自民党社会保障制度調査会・障害者福祉委員会が開催され、全日本育成会からは、副島理事長、山内副理事長、大久保常務理事が出席しました。

会議内容は、障害者自立支援法の見直しに向けた検討状況について、厚生労働省からの社会保障審議会障害者部会報告書の概要説明に続き、関係団体並びに出席議員による意見交換が行われました。

なお、与党プロジェクトチームによる見直しの具体的な方策は示されませんでした。